



確 か め よ う 学 業 指 導

平成26年度「栃木の子どもの学級と学習に関する調査研究」報告 概要

本パンフレットでは、学業指導尺度について紹介するとともに、学業指導の鍵となる視点について報告します。



- 児童生徒一人一人の意識や行動を高めるための **鍵**となる視点が2つありました

p. 2, 4, 5

帰属意識	学習への自信
規範意識	コミュニケーション能力
互いに高め合う意識	学習への取組

- 学業指導の **6 視点**相互の関連を確認しました

p. 8

- ◎ **学業指導尺度「学級と学習に関するアンケート」**

p. 10, 11

子どもの姿を捉え、学業指導の状況を把握できる
児童生徒用アンケートを作成しました



本県が推進する学業指導の一層の充実のために、学業指導尺度「学級と学習に関するアンケート」を活用して、自校における学業指導の状況を把握してください。

※Web報告書では、詳細な調査結果を公開しています。⇒

http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/gakkyutogakushu_h26/



学業指導を子どもの姿から捉える

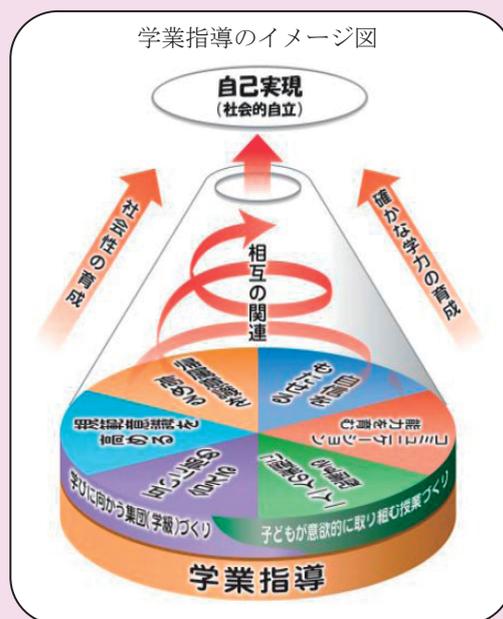
学業指導とは、それぞれの学級を「学びに向かう集団」に高めながら、児童生徒一人一人が自らの力で様々な不適応を解消し社会性を身に付けたり、意欲的に学習活動に取り組んで学力を向上させたりして自己実現（社会的自立）を図っていくための指導・援助のことです。

「学業指導の充実に向けて」 栃木県教育委員会 平成24年3月より

学業指導には、「学びに向かう集団づくり」と「子どもが意欲的に取り組む授業づくり」の2本の柱があり、それぞれについて3つの視点があります。これらの相互作用によって、将来の自己実現に向けた社会性及び確かな学力の育成が図られます。

本調査研究では、学業指導を効果的に進めるために、抽出調査*を通して学業指導の状況を把握するとともに、学業指導の成果を子どもの姿から測ることができる尺度をつくりました。

そこで、教師側の指導である学業指導の6視点それぞれを、指導により表れるであろう子どもの意識や行動として、下表のように捉えました。



学業指導の2本の柱

		学びに向かう集団づくり	子どもが意欲的に取り組む授業づくり
6 視 点		帰属意識の高い学級づくり	自信をもたせる授業づくり
		規範意識の高い学級づくり	コミュニケーション能力を育む授業づくり
		互いに高め合える学級づくり	一人一人の実態に配慮した授業づくり

学業指導の成果として表れる
子どもの意識や行動

集団づくりの3視点から見た子どもの姿	授業づくりの3視点から見た子どもの姿
帰属意識	学習への自信*
規範意識	コミュニケーション能力
互いに高め合う意識	学習への取組*

※「授業づくり」の柱の「自信をもたせる授業づくり」と「一人一人の実態に配慮した授業づくり」については、教師の取組の成果がそれぞれ子どもの「学習への自信」と「学習への取組」に表れると考えました。

*学業指導に関する抽出調査

調査目的：県内における学業指導の取組状況の把握及び学業指導尺度作成のための基礎資料の収集

実施期日：平成26年7月上～中旬

調査対象：県内の小・中・高等学校37校の小学校第4学年から高等学校第3学年までの111クラスを抽出して実施（回答人数 3,579人）

調査用紙：設問数 60問、「自分を評価する質問項目」と「クラスを評価する質問項目」で作成

分析方法：統計処理ソフト「SPSS」を用いて、「因子分析」、「重回帰分析」等により分析

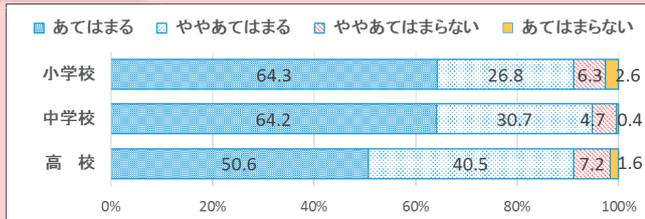
学業指導の状況 — 抽出調査の集計結果より抜粋 —

抽出調査の結果（子どもの姿）から、本県の先生方による学業指導の取組の状況が見えてきました。「集団づくり」の各項目の結果を見ると、肯定的な回答の割合が約59～96%でした。「授業づくり」では、肯定的な回答の割合が約41～93%でした。学業指導の充実に向けた取組が着実に進められていることがうかがえますが、否定的な回答をした子どもにも目を向けて、丁寧に支援していく必要があると考えられます。

集団づくりの3視点

帰属意識

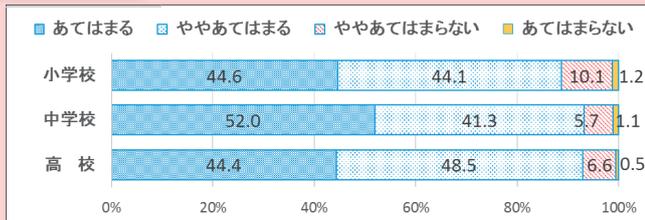
Q わたしは、このクラスの一員でよかったと思う。



全学校段階において、肯定的な回答が9割を超えている。

規範意識

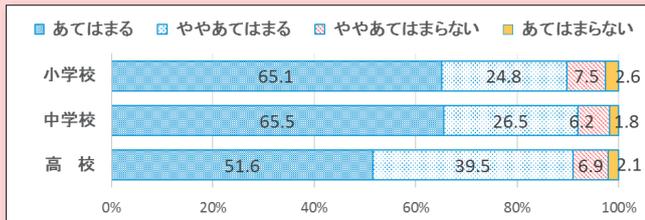
Q わたしは、学校やクラスのルールを守っている。



中学校・高校では、肯定的な回答が9割を超えている。

互いに高め合う意識

Q わたしは、友だちが協力してくれることで、やる気になることがある。

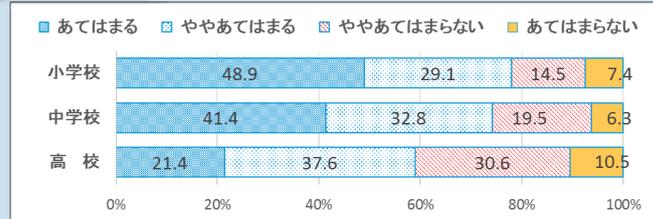


各学校段階において、肯定的な回答の割合が約9割である。

授業づくりの3視点

学習への自信

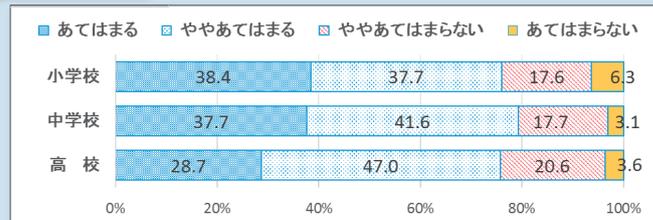
Q わたしは、授業中に先生からほめられてうれしかったことがある。



学校段階が上がるほど、肯定的な回答の割合が低くなる。

コミュニケーション能力

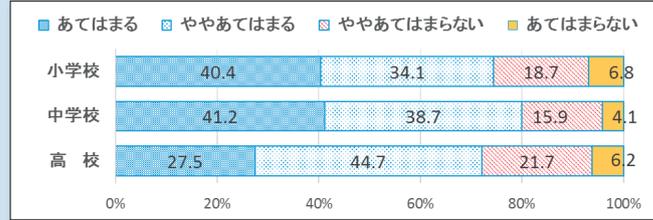
Q わたしは、授業中、話し合ったり教え合ったりすることで、自分の考えが深まることある。



各学校段階において、肯定的な回答が7割を超えている。

学習への取組

Q わたしは、授業中、先生の手助けによって分からないことやできないことを解決することがある。

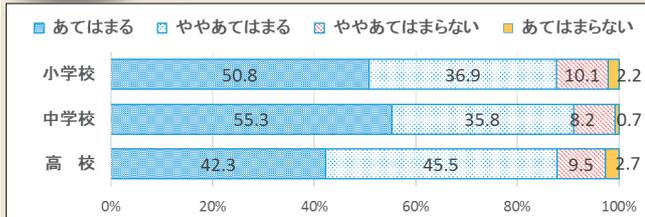


中学校では、肯定的な回答の割合が約8割である。

抽出調査では、視点ごとにクラスを評価する質問項目も設定しました。

互いに高め合う意識

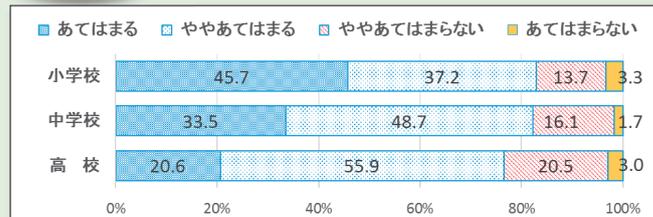
Q クラスのみんなは、運動会や学習発表会などの行事で、クラスの目標を達成するために努力していると思う。



中学校では、肯定的な回答の割合が9割を超えている。

学習への自信

Q クラスのみんなは、やる気をもって授業に取り組んでいると思う。



学校段階が上がるほど、肯定的な回答の割合が低くなる。

今回の調査では、クラスを評価する質問項目(12問)の結果をクラスごとに集計し、クラスの「意識や状況」を捉えました。その上で、クラスの「意識や状況」が、所属する子どもたち一人一人の「意識や行動」に与える影響について調べました。次頁にその結果を示します。

※他の質問項目の結果については、Web報告書をご覧ください。

学業指導の鍵

— 抽出調査の分析結果より —

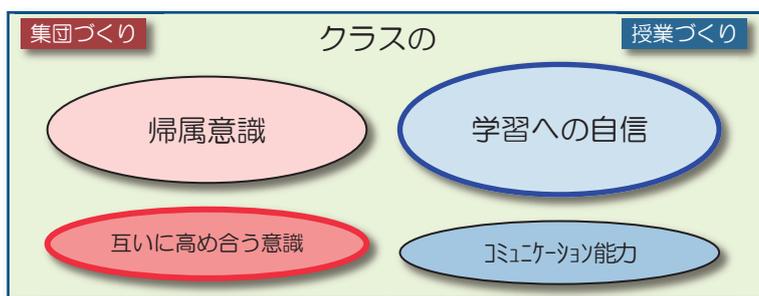
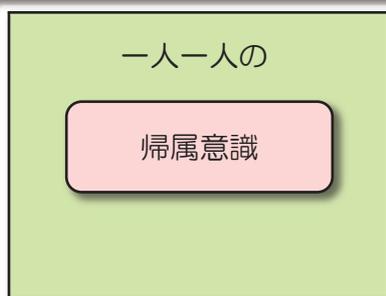
抽出調査結果の分析により、クラスの「意識や状況」が一人一人の「意識や行動」に影響していることが分かりました。

つまり、クラスを望ましい姿に成長させることが、児童生徒一人一人を成長させるという学業指導の効果を確認することができました。

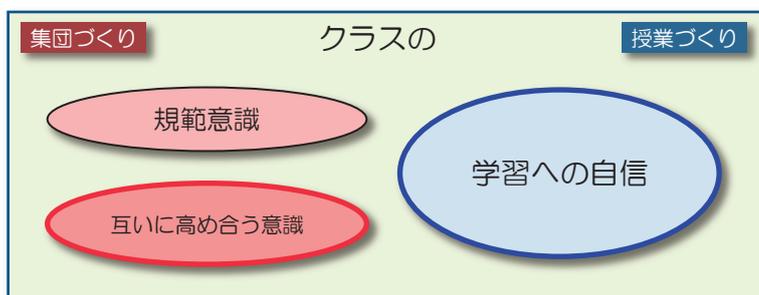
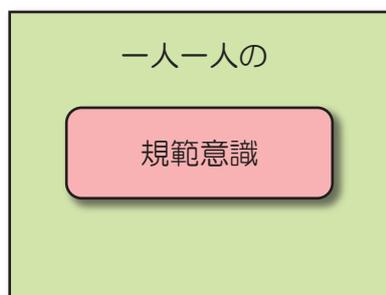


影響の強さを楕円の大きさと色で表しています。鍵となるクラスの「意識や状況」を赤枠と青枠で示しました。

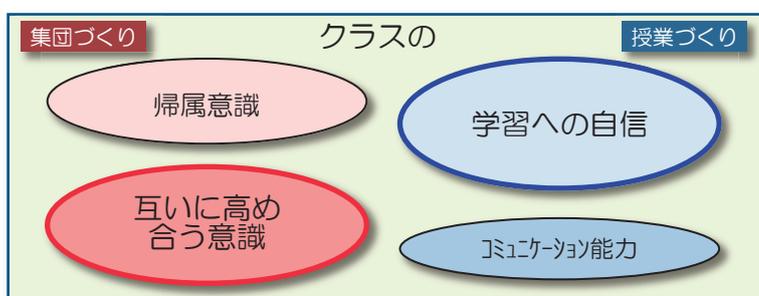
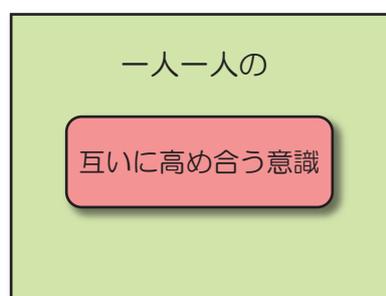
集団づくりの3視点



一人一人の「帰属意識」を高めるには……… クラスの「帰属意識」だけではなく「学習への自信」を高めることが有効です。



一人一人の「規範意識」を高めるには……… クラスの「規範意識」だけではなく「学習への自信」や「互いに高め合う意識」を高めることが有効です。



一人一人の「互いに高め合う意識」を高めるには……… クラスの「互いに高め合う意識」だけではなく「学習への自信」を高めることが有効です。

「集団づくりの3視点」には、**授業づくり**の視点からのアプローチも大切なのが分かります。



クラスの「意識や状況」が一人一人の「意識や行動」に与える影響の強さを、統計的な分析によって調べました。

集団づくりの3視点と授業づくりの3視点における一人一人の「意識や行動」を高める鍵は ……………

クラスの「互いに高め合う意識」🔑と「学習への自信」🔑です。

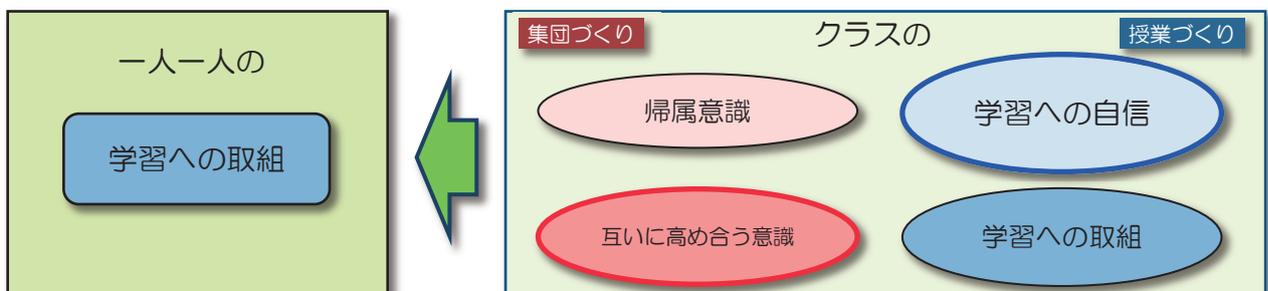
授業づくりの3視点



一人一人の「学習への自信」を高めるには……クラスの「学習への自信」だけではなく「互いに高め合う意識」を高めることが有効です。



一人一人の「コミュニケーション能力」を高めるには……クラスの「コミュニケーション能力」だけではなく「学習への自信」や「帰属意識」を高めることが有効です。



一人一人の「学習への取組」を高めるには……クラスの「学習への取組」だけではなく「学習への自信」や「互いに高め合う意識」を高めることが有効です。

「授業づくりの3視点」も、**集団づくり**の視点からのアプローチが大切なのが分かります。2本の柱を越えた取組が大切なんですね。



クラスの「互いに高め合う意識」を高めるには

クラスの「互いに高め合う意識」が一人一人の「意識や行動」に影響していました。クラスの「互いに高め合う意識」を高めるには、具体的にどうすればよいでしょうか。



互いに高め
合う意識

が高いクラスは、次のようなクラスです。

例：競い合ったり、助け合ったりしながら、みんなが互いに高め合っているクラス

こんなクラスにするための具体的な指導例

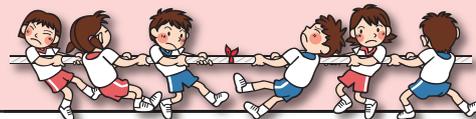
- ・子どもが「ミニ先生」となり、助言やヒントを求めている友だちに教える場を設定しましょう。
- ・時には、班活動やレクリエーション等で競わせる場を設定しましょう。
- ・行事や学級活動での振り返りの場面では、相互に評価し合うなどの活動を取り入れましょう。



例：学校祭や体育祭などの行事で、目標を達成するために、みんなが努力しているクラス

こんなクラスにするための具体的な指導例

- ・準備段階から諸活動のねらいを明確にし、子どもに意識させましょう。
- ・教師の適切な指導の下、子どもの自主的な活動を取り入れ、活動意欲を高めましょう。
- ・クラス全員に個人目標を設定させましょう。
- ・目標を掲示するなどして、活動過程の中で意識できるように工夫しましょう。



別の視点からのアプローチで「互いに高め合う意識」を高めましょう！

帰属意識

責任感や連帯感を育成するために清掃活動等で役割をもたせます。

コミュニケーション能力

課題解決学習・協同作業等において話し合いの場面を設定します。



「互いに高め合う意識」が高いクラスの児童生徒には、次のような傾向が見られました。

- ・わたしは、クラスの人とお互いに注意し合っていると思う。
(小)・・・「規範意識」
- ・学校祭や体育祭(運動会)などの行事で、クラスのみんなと感動することがある。
(中・高)・・・「帰属意識」

- ・わたしは、話し合いの中でみんなの意見がまとまって、よかったと思うことがよくある。
(小・中)・・・「コミュニケーション能力」
- ・わたしは、先生に話を聞いてもらって、勉強の仕方を見直したことがある。
(高)・・・「学習への取組」

クラスの「学習への自信」を高めるには

クラスの「学習への自信」が一人一人の「意識や行動」に影響していました。クラスの「学習への自信」を高めるには、具体的にどうすればよいでしょうか。



学習への自信

が高いクラスは、次のようなクラスです。

例：授業の中で、子ども同士がよいところを認め合っているクラス

こんなクラスにするための具体的な指導例

- ・子どもの発言のよいところを、まず教師が認めることによって、子どもたちが互いの意見のよいところに着目できる雰囲気づくりをしましょう。
- ・子どもの発言（つぶやき）を大切にし、それを取り上げ、授業で生かしていきましょう。
- ・ペア学習やグループ学習などを通して、協同して課題を解決するような機会を設けるようにしましょう。
- ・学習活動に相互評価を取り入れ、認め合う活動をさせましょう。



例：みんながやる気をもって授業に取り組んでいるクラス

こんなクラスにするための具体的な指導例

- ・子どもの発言等を肯定的・受容的に受け止めましょう。
- ・学習結果に加え、学習過程の中でも称賛していきましょう。
- ・子どもの主体性を生かす学習活動を取り入れましょう。
- ・今行っている学習の意味や社会生活とのつながりについて説明しましょう。



別の視点からのアプローチで「学習への自信」を高めましょう！

学習への取組

努力を要する子どもへの支援を丁寧に行います。

互いに高め合う意識

自信をもたせるために、友だちのよい行動を発表し合う場を設けます。



「学習への自信」が高いクラスの児童生徒には、次のような傾向が見られました。

- ・わたしは、クラスの人とお互いに注意し合えていると思う。
(小・中)・・・「規範意識」
- ・わたしは、クラスの中に目標としている仲間がいる。
(高)・・・「互いに高め合う意識」

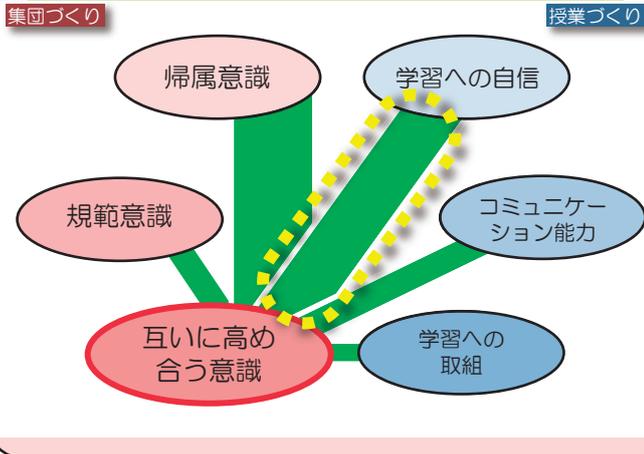
- ・わたしは、授業中に先生からほめられてうれしかったことがある。
(小)・・・「学習への自信」
- ・ノートやワークシートなどの提出物に先生が書いてくれたコメントが、その後の学習の役に立っている。
(中)・・・「学習への取組」
- ・わたしは、家で自分の苦手なところを勉強している。
(高)・・・「学習への自信」

学業指導の6視点相互の関連

クラスを評価した質問項目の分析から、学業指導の成果であるクラスの「意識や状況」の6視点の間には、有意な相関関係があることが確認できました。



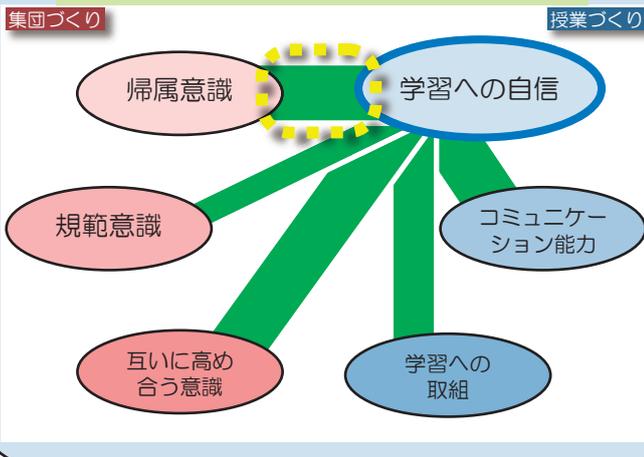
クラスの「互いに高め合う意識」との相関関係



上図は、クラスの「互いに高め合う意識」と他の5つの意識や状況との相関関係の強さを線の太さで表したものです。

「集団づくり」の柱では、「帰属意識」と強い相関がありました。また、「授業づくり」の柱では、「学習への自信」と強い相関がありました。

クラスの「学習への自信」との相関関係



上図は、クラスの「学習への自信」と他の5つの意識や状況との相関関係の強さを線の太さで表したものです。

「授業づくり」の柱では、「コミュニケーション能力」と強い相関がありました。また、「集団づくり」の柱では、「互いに高め合う意識」及び「帰属意識」と強い相関がありました。

校種	学びに向かう集団(学級)づくりの視点	子どもが主体的に取り組む授業づくりの視点	◎: 中心視点 ○: 関連視点
小	帰属意識を高める	自信をもたせる	◎
中	規範意識を高める	コミュニケーション能力を育む	◎
高	互いに高め合える	一人一人の実態に配慮する	◎

事例 より良い人間関係の構築

「してもらってうれしかったこと」等のベストを書き、「ありがとつ木」の振り返りを促します。**【互いに高め合える】**

学級での話し合いやアンケートの結果を学級に掲示することで、学級の実態や状況の見える化を図っています。児童生徒は、掲示された行動をモデルとして、自信をもって実践できるようになり、学級全体に望ましい行動が広がっています。

「してもらってうれしかったこと」ベスト

1位.....
2位.....
3位.....
4位.....
5位.....
6位.....

◎その他例
「誰かが誰かにしてほしかったこと」を、取っかかんの紙に貼って見せよう。

学級の実態や状況の見える化を図りましょう。

関連する視点

<児童生徒の思いや行動を大切に扱う 掲示の工夫>

「してもらってうれしかったこと」等を、花形や葉形の用紙に書き、「ありがとつ木」や「思いやりつ木」に掲示します。そのことによって、児童生徒同士による互いの良さの認め合いが促進され、自尊感情や自己有用感が高まります。また、児童生徒は、承認欲求が満たされることで自信をもつようになり、授業での積極的な行動が期待できます。**【自信をもたせる】**

写真は、「緑のつ木」や「赤いつ木の木」です。人権週間での活動の仕方が参照できます。

教師用指導資料「学業指導」実践事例集 (CD-ROM)
栃木県教育委員会 平成26年3月 から

上の資料は、「互いに高め合える集団づくり」を中心視点として関連視点を紹介している実践事例です。

「互いに高め合える集団づくり」と「自信をもたせる授業づくり」の関連と具体的な指導事例が示されています。

校種	子どもが主体的に取り組む授業づくりの視点	学びに向かう集団(学級)づくりの視点	◎: 中心視点 ○: 関連視点
小	自信をもたせる	帰属意識を高める	◎
中	コミュニケーション能力を育む	規範意識を高める	◎
高	一人一人の実態に配慮する	互いに高め合える	◎

事例 児童生徒の発言が飛び交う授業づくり

児童生徒のつぶやきを大切に、それを取り上げ、授業で生かしていきます。**【自信をもたせる】**

「授業の主役は子ども達」を合い言葉に、児童生徒の発言が飛び交う授業を目指します。「〇〇さんと同じ意見のようだけど、みんなに聞かせてくれるかな?」、「いい考えだね。発表してくれるかな?」など、児童生徒のつぶやきを取り上げ授業で生かしていくと、積極的に発言する児童生徒が増え、自信をもって学習に取り組めます。

資料

- ・【発言の取り上げ方(つぶやきを大切に)する。】
- ・【つぶやきを取り上げる際の「ひと言」集】

関連する視点

<認め合う関係づくり>

授業において児童生徒が発言する機会を多く認めることは、お互いの考えを聞き合い、認め合う関係づくりにもつながります。児童生徒が、学級の一員として認められているという意識がもて、帰属意識の高まりにもつながります。**【帰属意識を高める】**

<伝え合う活動の充実>

共通点や違いに目を向けさせ、気付け、自分の考えを伝え合うことができる授業づくりを行うことで学び合いのある授業が展開され、児童生徒のコミュニケーション能力を高める指導にもつながります。**【コミュニケーション能力を育む】**

教師用指導資料「学業指導」実践事例集 (CD-ROM)
栃木県教育委員会 平成26年3月 から

上の資料は、「自信をもたせる授業づくり」を中心視点として関連視点を紹介している実践事例です。

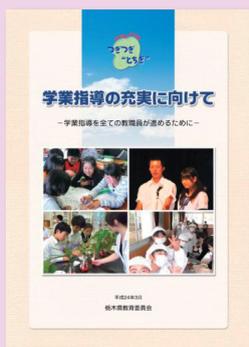
「自信をもたせる授業づくり」と「帰属意識を高める集団づくり」等の関連と具体的な指導事例が示されています。

学業指導に関する参考資料

「学業指導の充実に向けて-学業指導を全ての教職員が進めるために-」

学業指導をイメージ化し、分かりやすく解説するとともに、集団づくり・授業づくりの視点や実践例、取り組む際の留意点等が掲載されています。

- ・ 集団づくり：朝の会、清掃活動、学活・ホームルーム、当番活動の充実、学校行事などでの指導のポイントと実践例
- ・ 授業づくり：発言の取り上げ方、話し合い形態の工夫、児童生徒の情報共有などの指導のポイントと実践例



栃木県教育委員会
平成24年3月



栃木県教育委員会事務局学校教育課
平成26年3月

「学業指導」実践事例集 (CD-ROM)

「学業指導の充実に向けて-学業指導を全ての教職員が進めるために-」をもとに作成された実践事例集です。各学校や児童生徒の実態に応じて、内容を選択して活用することができます。

- ・ チェックリスト ⇒ 教師用アンケートにパソコン画面上で回答すると、結果に応じて指導に役立つ情報が得られる。
- ・ 6つの視点や学校種に応じて実践事例を検索できる。

なるほど。
学業指導には、2つの鍵
があったのですね。

そうですね。
それに、6視点の関連に
についても分かりました。

では、これらの学業指導の大切なポイントを指導に生かすにはどうすればよいのでしょうか。

まずは、学業指導の状況を把握することが大切です。そのための尺度（児童生徒用アンケート）を作成しました。
詳しくは、次頁をご覧ください。

学業指導尺度について

本調査研究では、学業指導の状況や成果を把握するための学業指導尺度を作成しました。この尺度は、抽出調査で使用した質問項目の中から、結果の分析を通して精選した児童生徒用のアンケートです。この尺度を活用することで、学業指導の状況に関する客観的なデータが得られます。

(1) 学業指導尺度 「学級と学習に関するアンケート」

- 対象 児童生徒（小4以上*）
 - 用紙 A4判1枚（p.3参照）
 - 構成 30問（6視点…各5問）
 - 問1～15は「**集団づくり**」に関する質問
 - 問16～30は「**授業づくり**」に関する質問
 - 所要時間 10分～15分程度
- *小3以下の場合は、先生が問題を一問一問読み上げ、説明しながら回答させることで、実施が可能です。

4件法で回答

質問は、視点ごとに、学業指導の成果として表れた子どもの姿で表記

帰属意識

規範意識

互いに高め合う意識

学習への自信

コミュニケーション能力

学習への取組

(2) 分析ツール

- 利用方法 栃木県総合教育センターWebサイトよりダウンロードして利用できます。
- 使用ソフト Excel（一部マクロ使用）
- 特長 アンケートの回答結果を入力すると、ワンクリックで、下図のようなグラフ等を作成することができます。

分析ツール メニュー画面

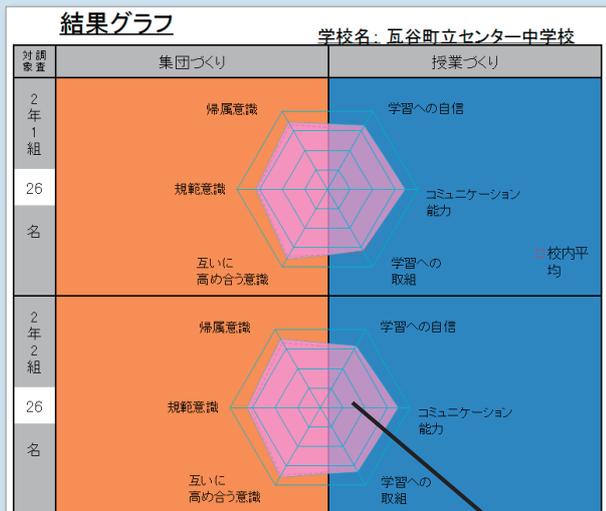
学級と学習に関するアンケート *Menu*

① 学校名を入力

② 調査回答を入力

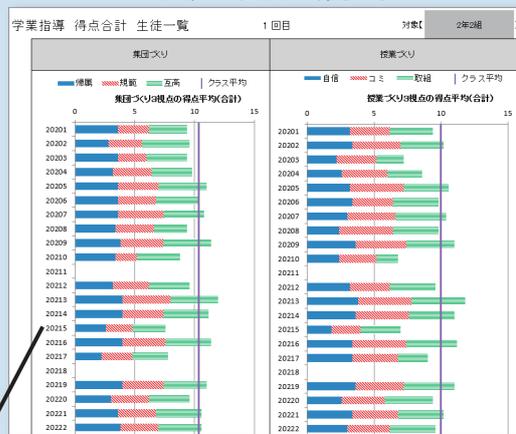
③ 印刷

グラフ出力（例1）



学年やクラス等の集団の状況が分かります。

グラフ出力（例2）



気になる子どもの結果が、一目で分かります。

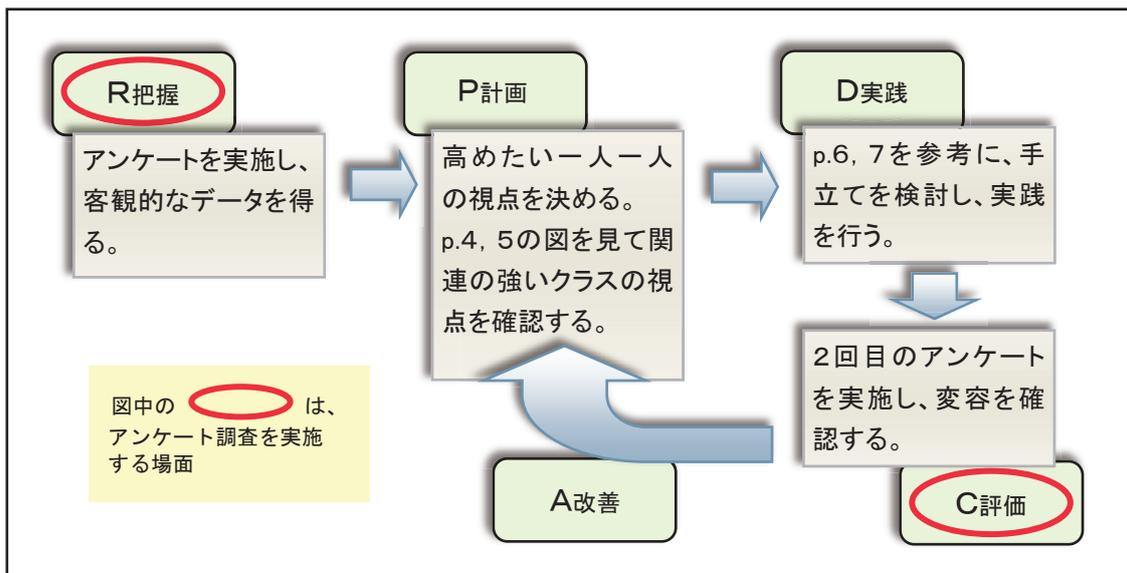
当センターWebサイト及び「学業指導」実践事例集(CD-ROM) (p.9参照)に掲載のチェックリスト(教師用アンケート)を併せて活用することで、教師側の日頃の指導の振り返りと児童生徒の意識等を比較することができます。

学級と学習に関するアンケート		クラス		番号	
<p>次の1～30は、学級（学校生活）や 学習（授業）に関する質問です。</p> <p>あなたが思っていることや行っていることに一番近いものを、それぞれ1つだけ選び、数字を○でかこんでください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>「4：あてはまる」 「3：ややあてはまる」 「2：あまりあてはまらない」 「1：あてはまらない」</p> </div>		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1	わたしは、このクラスの一員でよかったと思う。	4	3	2	1
2	わたしは、クラスのために役に立ちたいと思っている。	4	3	2	1
3	わたしは、クラスの人みんなを仲間だと思っている。	4	3	2	1
4	運動会や合唱コンクール・学校祭などの行事で、クラスの人みんなと感動することがある。	4	3	2	1
5	わたしは、教室にいると気持ちが落ち着く。	4	3	2	1
6	わたしは、授業が始まる前にいつも着席している。	4	3	2	1
7	わたしは、学校やクラスのルールを守っている。	4	3	2	1
8	わたしは、教室の机やロッカーを大切に使っている。	4	3	2	1
9	わたしは、相手の気持ちを傷つけることを、言わないようにしている。	4	3	2	1
10	わたしは、クラスの人とルールについて互いに注意し合えていると思う。	4	3	2	1
11	友だちが励ましてくれることで、やる気になることがある。	4	3	2	1
12	わたしは、運動会や合唱コンクール・学校祭などの行事で、クラスやチームの目標を達成するために努力していると思う。	4	3	2	1
13	友だちの意見を聞いて、自分の意見を考え直すことがある。	4	3	2	1
14	わたしは、係や委員会などの仕事に工夫をしながら取り組んでいる。	4	3	2	1
15	わたしは、クラスの人みんなのよいところを知っている。	4	3	2	1
16	授業でよく理解できなかったところを、そのままにせず、先生や友だちに聞いたり、後で復習したりするようにしている。	4	3	2	1
17	授業中、自分の意見が大切にされてうれしかったことがある。	4	3	2	1
18	わたしは、授業中に先生からほめられてうれしかったことがある。	4	3	2	1
19	わたしは、やる気をもって授業に取り組んでいる。	4	3	2	1
20	わたしは、授業中、難しい問題を出されると、やる気が出てくる。	4	3	2	1
21	わたしは、授業中、安心して発言することができる。	4	3	2	1
22	わたしは、授業中、友だちの意見や感想を最後まで聞いている。	4	3	2	1
23	授業中、友だちや先生に、自分の考えを分かりやすく伝えようとしている。	4	3	2	1
24	わたしは、授業中、話し合ったり教え合ったりすることで、自分の考えが深まることがある。	4	3	2	1
25	わたしは、話し合いの中でみんなの意見がまとまって、よかったと思うことがよくある。	4	3	2	1
26	わたしは、勉強のことで先生に気軽に質問することができる。	4	3	2	1
27	わたしは、授業中、先生の手助けによって分からないことやできないことを解決することがある。	4	3	2	1
28	ノートやワークシートなどの提出物に先生が書いてくれたコメントが、その後の学習に役立っている。	4	3	2	1
29	わたしは、先生に話を聞いてもらって、勉強の仕方を見直したことがある。	4	3	2	1
30	学習の内容や方法を自分で選べる授業は、取り組みやすい。	4	3	2	1

アンケートを活用した状況把握について

学校で教育活動を進めるにあたっては、事実から課題を把握し、それを踏まえて手立てや働きかけを考えることが大切です。教師の見取りに加えて、アンケート調査によって得られる客観的なデータを総合的に分析することで、より正確な状況把握につながります。

学業指導尺度「学級と学習に関するアンケート」(p.11)を「R(実態把握)」や「C(評価)」の場面で実施することで、学業指導のPDCAサイクルが回り、より効果的な指導が期待できます。



参考：多様な尺度を活用して、子どもたちの理解をさらに深めましょう

当センターでは、本パンフレットで紹介した「学業指導尺度」を含め、3つの尺度と分析ツールを公開しています。これらの尺度は単独でも使えますが、下に示すように、まず学業指導尺度を用いてクラスや集団の状況を確認した上で、さらに「自己有用感尺度」や「学ぶ意欲尺度」を用いて詳しく調べるといった活用方法があります。

学業指導尺度「学級と学習に関するアンケート」を実施して

「集団づくり」を充実させたい！

「授業づくり」を充実させたい！

自己有用感尺度
「ふだん思っていることに関するアンケート」

高めよう！
自己有用感
～栃木の子どもの現状と指導の在り方～
平成25年3月
栃木県総合教育センター

学ぶ意欲尺度
「学習に関するアンケート」

学業指導の充実
～子どもが意欲的に取り組む授業づくり～
学ぶ意欲尺度を用いた校内研修等に関する資料
平成23年3月
栃木県総合教育センター

平成25年3月
栃木県総合教育センター

平成23年3月
栃木県総合教育センター

平成26年3月
栃木県総合教育センター